

数字で見る環境問題

9回

平成13年度の光化学オキシダント注意報の発令回数は9回（日数では5日。）県民への周知やばい煙排出量の削減要請等を行いました。

[▶11ページへ](#)



約4割

瀬戸内海に流れ込む汚水の約4割が生活排水です。生活排水が瀬戸内海の水を汚す大きな原因となっています。

[▶13ページへ](#)



約1,500事業所

県内のPRTR（環境汚染物質排出・移動登録）の対象事業所は、約1,500あると見込まれています。

[▶18ページへ](#)



1,084g

1人が1日当たり出すゴミの量は1,084gです。

[▶20ページへ](#)



3.7年

県内の産業廃棄物最終処分場（管理型）の残余年数は、平成12年度末で、3.7年となっており、極めてひっ迫した状況にあります。



▶20ページへ

約807万人

平成13年に県内の自然公園・自然歩道・野外レクリエーション施設を利用した人は、約807万人います。



▶22ページへ

300種

平成7年度に作成の広島県版レッドデータブックでは、絶滅のおそれがある野生生物として、300種が選定されました。貴重な植物や動物が絶滅しそうな状況にあります。



▶23ページへ

18市町村

景観指定地域に指定されている市町村は、県内86市町村のうち18市町村あります。



▶24ページへ

2,153人

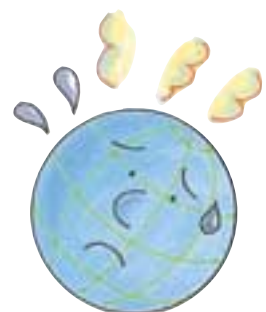
平成13年度広島県内で106クラブ、2,153人のメンバーがこどもエコクラブに登録し、小中学生が自主的に様々な環境保全活動に取り組みました。



▶25ページへ

13.2トン-CO₂

広島県の二酸化炭素の排出量（平成11年度）は、約38,072千t-CO₂であり、県民1人当たりに換算すると約13.2t-CO₂となります。これは、1人が1年間にガソリンを5,714リットル使用したことに相当します。



▶27ページへ